

広島大学 校友会だより

特集

就活
応援

私たちの就活 2018

第12回 広島大学
ホームカミングデーレポート

先輩インタビュー
丸虎国際顧問有限公司 総経理 (社長)

歐 元韻 さん
(1989年 教育学研究科博士課程前期修了)

校友会SUPPORT FILE
広島大学体育会バレーボール部
広島大学スクーバダイビングクラブSEAQUA

校友会レポート

就活 応援

就職戦線を乗り切った4年生がまもなく巣立っていきます。そして、広島大学のキャリアサポートは次年度、さらにその次の年度の就職希望学生に向かいます。一人でも多くの学生に、希望にかなう就職を実現することを目指して、広島大学のキャリアサポートは進化しつづけています。



私たちの就活 2018

この春、広島大学から社会人となるのは学部生、大学院生合わせて約2,000人。“売り手市場”と言われながらも、学生たちは初めての就活に戸惑い、壁に突き当たって考え、乗り越えながら内定を獲得していきました。初めての就活の指針となるのが広島大学のキャリアサポートです。就活は個人的な活動でキャリアサポートの活用の仕方も一人ひとり違います。「正解」もありません。だから、先輩たちの体験を聞きましょう。次に動くためのヒントを見つけるために。

やすむる そうま
安室 蒼馬さん

総合科学部4年
総合コンサルティング会社内定

神戸市出身。知らないこと、できないことに出会うと挑戦意欲をかきたてられるタイプ。自分では要領がいいタイプと思っていたが、就活の自己分析で「意外に学習意欲が高いかも」と見直した。仕事を通して「人はどう動機づけられれば動くか」を知りたいと言う。

やたがい りょう
谷田貝 僚さん

経済学部4年
損害保険ジャパン日本興亜株式会社内定

「国立大学で野球を続けたい!」と、栃木県から広島大学に入学。4年生で全日本大学野球選手権大会への出場を果たす。就活のために「野球をやめようか」と迷ったこともあったというが、「一つのことをやり抜いたこと」を武器に、野球を続けながらの就活を乗り切った。

すがわら
菅原 あいれさん

文学部4年
共栄火災海上保険株式会社内定

大分の短大でフランス文学に関心を持ち広島大学に編入。勉強だけでなく、続けてきたバイオリンを活かしてオーケストラサークル活動に打ち込むなど充実した学生生活を送る。「いろいろな人と接して世界が広がった。就活も含め、ずいぶん成長したと思います」



「総合コンサルティングファーム」の存在を初めて知ったのは大学で開かれた業界セミナーだった。

3年の冬になると大学で業界セミナーが開かれる。企業が広島大学にやって来て業界のプレゼンテーションをしてくれるのだ。ここで、ぼくは自分の知らない業界や仕事があることを知った。“総合コンサルティングファーム”もその一つだ。初めて知ったビジネスのコンサルティング。財務やマーケティング、システムなど、ジャンルをまたいで企業の課題を解決する仕事は、刺激的だった。しかも舞台はインターナショナルだ。

その後、広告代理店や商社などにも対象を広げたが、最終的には「自分が成長できそうな環境」という視点で決めた。ハードでドライな会社だが、組織に頼るのではなく自分の力で生きていけるだけのものを身につけたと思う。

安室 蒼馬



就活のフィールドを広げる機会は多彩に用意されています。

自分に合った進路を見つけるために情報収集と出会いの機会をフルに活用してください。

■キャリア関連講義

1年次から受講できる教養教育科目としてキャリア関連の講義を開講。企業で活躍するビジネスマンや経営者、公務員など先輩が講師をつとめる講座も用意して、いま、ビジネスの現場で起きている変化を知って自分のキャリアデザインに活かせるよう環境を整えています。

■就職ガイダンス

就活のキックオフとなるのがガイダンス。直近の就職環境や就活スケジュールなど、就職までのフローや、そのために何をしなければならぬかといった概要を把握します。

■業界・企業セミナー、合同企業説明会

企業が広島大学を訪れ、業界や自社についてプレゼンテーションを行います。業界・企業セミナーは単独企業によるセミナー、合同企業説明会は1日60～160社の企業が参加します。



■インターンシップ

企業で仕事などを体験する機会。内容は企業によってさまざまですが、ビジネスの現場に触れ、社員の仕事の実際を間近で見ることができます。夏休みを利用して海外でのインターンシップに参加することも可能です。

■就活支援ツアー

関西、首都圏で就職情報社が開催する大規模な合同企業説明会に合わせ、バス(大阪)、新幹線(東京)によるツアーを実施します。参加できるのは就活生のみ。費用は校友会や大学からの援助で通常より安価に設定されており、校友会員はさらに半額程度で参加することができます。

東京、大阪では若手卒業生も参加する懇談会が開かれるので、情報交換を行うこともできます。

2017年に開催したセミナーなど

	時期	回数
就職ガイダンス	主に10月～1月	43
業界・企業セミナー	12月～3月	117
合同企業説明会	3月	4
公務員説明会	12月、2月	31
就活支援(バス・新幹線)ツアー	3月	2
就活実践セミナー(集団面接・GD)	2月	4
キャリアサポーターイベント	10月～1月	8

1年生も就活準備を始めています



大庭・フランシス・光瑠さん

法学部1年

中学生のときから外交官に憧れていたけど、大学生になって「本当にそれでいいのか」と疑問を持ち始めました。もっといろいろな企業や仕事を知った上で進路を決めてもいいんじゃないかと思い、セミナーやインターンシップに参加しています。



「野球第一」でやってきたけどインターンシップに参加したおかげで就活も満足して終わることができた。

野球と就職活動との両立は、正直、きつかった。4~5月はリーグ戦、さらに6月の全国大会まで進んだので就活の時期と重なる。万全で臨んだ就活とは言えないけど、でも、結果には満足している。ポイントはインターンシップだった。「単位が取れる」という理由で、野球練習の合間を縫って参加することにして、「学生向け情報サイト もみじ」で公開されていたインターン受入企業の中から損保ジャパンを選んだ。経済学部なので保険業界には親和性を感じていたからだ。金融、通信、商社なども考えたが、結局、練習の合間のOB訪問や広島での面接など、きめ細かく対応してもらい、そのまま内定までつながっていった。

谷田貝 僚



首都圏での就活の拠点として 広島大学東京オフィスをご利用ください。

首都圏に本社機能を置く企業が増え、就活エリアも広がっています。広島大学東京オフィスは首都圏での就活生支援の拠点。資料作成や着替えの場所提供はもちろん、企業情報の収集、OB・OG紹介など、就活生を全面的にサポートします。



東京オフィスのオリジナルキャラクター「ひろとん」がお出迎え！
入り口ドアでお客さまをお迎えます。
もみじまんじゅう
大好きの心優しい男の子です。



オフィスのドアを開けると「いらっしゃい！」と元気な声。「就活で東京に来ている△△学部の○△と言います」と名乗ってくださいね。スタッフがすぐに対応します。



■東京オフィスの利用目的

①時間をつぶしたい。

就活用のコーナーを用意しています。企業情報などの資料もあるのでご利用ください。

②企業訪問の前に身だしなみを整えたい。

ブラシや簡易アイロンなどエチケットグッズを使って身だしなみを整えることができます。

③資料を整理したい。

Wi-Fiを使ってネット検索。コピー機も自由に使えます。

④エントリーシートを修正したい。

パソコン、プリンタも自由にお使いください。

⑤夜行バスで寝られなかったので仮眠したい。

簡易ベッドと毛布を用意しています。ゆっくり体を休めてください。

⑥誰かと話をしたい。

スタッフに声をかけてください。



これ以外の目的でも、東京オフィスへの訪問は自由です。気軽に寄ってください。





就活に疲れて引きこもった夏。確かに出遅れたけど 集中すれば「遅すぎる」ことはないと思う。

就活はなかなか思いどおりに行かなかった。「いったん止めよう」と決断したのは8月。何もせず部屋にこもって3週間過ごした。不思議と焦りはなく、やがて「よし、仕切り直し!」という気持ちになれたのだからよかったと思う。時は9月。企業の採用活動はすでに終わっておりエントリーできる企業は少なかったが、東京、九州とエリアを拡げていくつか内定をいただくことができた。

就活を始めたのは3年に編入して間もない頃。業界セミナーに参加しても今ひとつ、自分のこととして切実に考えていなかったと思う。でも、就活に正解はない。「どこで区切りをつけるか」、自分と向きあって気持ちを整理しながら、自身で見極めるしかない。モデルがあるわけでもないし、友だちと比較するものでもない。私なりに頑張った半年間、とても大切な時間だった。

菅原 あいれ



■広島大学東京オフィス

〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6

TEL: 03-5440-9065

東京オフィス開館時間

平日9:30~16:30

(土・日曜、祝祭日及び年末年始を除く)

アクセス

JR山手線・京浜東北線 田町駅芝浦口から徒歩1分

都営地下鉄三田線・浅草線 三田駅から徒歩5分

Website:

[https://www.hiroshima-u.](https://www.hiroshima-u.ac.jp/tokyo/)

[ac.jp/tokyo/](https://www.hiroshima-u.ac.jp/tokyo/)



キャンパス・イノベーションセンター4階です。

キャンパス・イノベーションセンター開館時間中(8:30~21:00)のご利用はご相談に応じます。

※平日9:30~16:00以外のご利用は、事前にご連絡ください。



私たちが 東京オフィスを利用しました!



安室 蒼馬

一人で就活していると淋しいんですよ。東京オフィスに行けば誰かが居て話をしてくれる。ホッとします。OBを紹介してもらったこともありました。



谷田貝 僚

3月、4月は東京で3日就活し広島で2日練習という怒濤のスケジュール。東京オフィスに寄ってコーヒーをご馳走になるのが何よりの息抜きでした。



菅原 あいれ

東京オフィスのことを教えてくれたのは実家の母。Wi-Fiやプリンターが使えるしヘアアイロンや仮眠用のベッドまであって、とても助かりました。

広島大学の組織を結集。 それぞれの役割と機能で就活をバックアップします。

■新しい就活支援体制

全国の国立大学として初めて、学生の就活を支援する学生就職センターを設立してから20年。その間に就職環境はさまざまに変化してきました。さらに2021年からは、これまでの就活の指針が廃止され就活も大きく影響を受けると考えられます。

こうした変化に対応するため、広島大学はグローバルキャリアデザインセンターを中心にさらに幅広いエリア、幅広い年代の情報を結集しようとして「広島大学キャリア支援ネットワーク」を立ち上げました。この新体制で、これまで以上にきめ細かい情報を、これまで以上に早くから学生に提供していきます。

■若手企業人が参加

ネットワークの特長の一つは、卒業して間もない若い世代の卒業生が参加していること。在学時キャリアサポーターとして活躍してきたOB、OGが数年前の就活経験を活かしてアドバイスを行います。また、若手が参加することで、企業人の立場から学生の就職意識を刺激してよりアクティブな就活へ結びつくことが期待できます。

広島大学キャリア支援ネットワーク



広島大学キャリア支援ネットワーク協議会。全国からメンバーが東広島キャンパスに集まり活発な意見交換が行われた。



今回の協議会にはオブザーバーとしても若手が参加。就活生に最も近い立場からのホットな意見が待たれる。



キャリアサポーター卒業生など若手企業人は協議会の後、就活をひかえた学生と直接対話した。

2018年
11月3日(土・祝)

第12回 広島大学 ホームカミングデー 開催



ホームカミングデー広場
物産展や学生のステージが開かれ、サタケメモリアルホール前広場は1日中にぎわいました。

第12回広島大学ホームカミングデーを東広島キャンパスで開催しました。
2018年は7月に豪雨災害が西日本を襲い、広島県も甚大な被害を受けてまだ復旧途上の地域も少なくありません。東広島市もJR山陽本線、山陽自動車道が不通となり、学生や教職員が不便をしいられました。9月に残っていたJR山陽本線が全線開通し、ホームカミングデー会場も例年どおり多くの来場者でにぎわいました。

メイン会場サタケメモリアルホール



「卓越大学院プログラム」 採択を報告



ごあいさつに立った越智光夫学長が広島大学大学院理学研究科の「ゲノム編集先端人材育成プログラム」が、注目を集める国の卓越大学院プログラムとして採択されたことを報告しました。ホームカミングデーは広島大学の新しい動きがお披露目される場としても注目です。



- 広島大学学長表彰
- 広島大学学長特別表彰
- Phoenix Outstanding Researcher Award
- 広島大学教育賞表彰

第一部

オープニング
序曲「セドナ」演奏

ごあいさつ
広島大学長・
広島大学校友会会長
越智 光夫

表彰式

大学歌合唱

第二部

KYO-ON
オマージュ
コンサート

■演奏曲目
FIFA 公式アンセム
凱旋行進曲
(歌劇アイダより)
ニルンベルグの
マイスタージンガー

岡田 武史氏
講演会
「チームマネジメント
～今治からの挑戦～」

サッカーをテーマに 岡田武史さんを歓迎

教育学研究科音楽文化教育学講座の徳永崇准教授と有志による特別編成アンサンブルが、ゲスト講演者の岡田武史さんへの歓迎の気持ちを込めてサッカーをテーマに3曲を演奏。



「サッカーには 地方を元気にする力がある」 岡田武史さんが語りました。

岡田武史さんは愛媛県今治市で、オーナーであるFC今治(JFL)を中心とした地域活性化に取り組んでおられます。講演は日本代表のサッカーの話題から始まり、代表取締役を務める株式会社今治・夢スポーツのスポーツパーク構想を、語っていただきました。キャリアから築かれた多彩な人脈との交流なども交えた親しみやすいトークに、会場の皆さんはすっかり惹きつけられてしまったようでした。「今治に行ってみよう」と思った人も多かったのではないのでしょうか。



**ご来場いただいた皆さん、ありがとうございました。
2019年第13回広島大学ホームカミングデーは11月2日(第1土曜日)です。**

学部・研究科企画

サタケメモリアルホールでのメイン企画とあわせて、各学部・研究科でも特色を活かした企画を展開。卒業生、保護者だけでなく一般の方も多く訪れました。

総合科学部・総合科学研究科

「ボードレスde学ぶ!」

留学と大学院進学をテーマに学部1年生と大学院生がそれぞれの経験や意見を発表しました。領域・国境を越えて学びのフィールドを広げる学生たちの姿を知っていただきたいと企画したものです。

その後、総合科学部後援会総会を開催。1年間の活動を報告しました。



教育学部・教育学研究科

音楽文化教育学講座

オペレッタ「こもり」ハイライト上演

演奏はもちろん大道具、衣装、照明などすべて学生、院生、教員が協力して創り上げる毎年恒例のオペラ。「世界一小さなオペラハウス」ですが、満員の客席とステージが一体になって盛り上がるステージに、年々来場者が増え、今回も立ち見が出るほどでした。



文学部・文学研究科

文学部で味わう世界のティータイム

中国、韓国、インドネシアの3カ国からの留学生が、それぞれのお茶とお菓子をふるましながら母国の文化を紹介しました。「実は海外からの留学生が多く学ぶ広島大学文学部」という特長を知っていただきたいと毎年実施しているもので、来場者も拡大しています。



法学部・経済学部・社会科学研究科

「パネルで振り返る

法学部・経済学部・社会科学研究科の1年」

法学部・経済学部・社会科学研究科で、過去約1年間に実施した講演会、シンポジウム、ユニークな授業などをまとめてパネル展示しました。特に学外の国連組織と連携した国際的な活動が目立ったようです。



工学部・工学研究科

保護者のためのオープンキャンパス

進路選択の時期を迎える学生の進路について、保護者の皆さんに情報を提供する企画。研究科長はじめ大学院生や教員の講演で工学研究科での学びや将来の進路についてプレゼンテーションした後、研究室の見学も実施。リアルな学生生活に触れていただけるプログラムを用意しました。



国際協力研究科

IDEC OPEN Day 2018

「IDECで世界を知ろう!」をテーマにステージパフォーマンス、各国の郷土料理提供、民族衣装を着ての写真撮影など盛りだくさんの企画を展開し、多くの来場者に喜んでいただきました。



理学部・理学研究科

■理学研究科生物科学専攻

広島大学理学部生物科学同窓会

柏木昭彦 広島大学両生類研究センター客員教授をお招きし、「この半世紀、カエルとともに」という演題で両生類研究施設の設立当時から現在に至るカエルを用いた研究の成果と、そこから見えてきた環境問題についてご講演いただきました。



■理学研究科地球惑星システム学専攻

ホームカミングシンポジウム

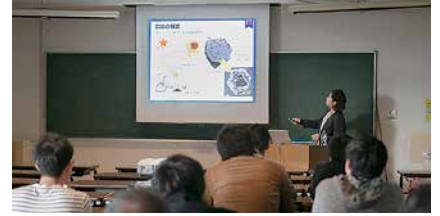
「女性の研究者・大学教員」

3人の卒業生をお招きしてシンポジウムを開催。それぞれの立場から女性研究者のやりがいや課題などを語りあっていただきました。

鶴我 佳代子氏 (東京海洋大学准教授 平成10年修了)

高島 千鶴氏 (佐賀大学准教授 平成20年修了)

羽場 麻希子氏 (東京工業大学助教 平成22年修了)



情報科学部【新設】

情報科学部関連卒業生による

ホームカミングシンポジウム

昨年4月にスタートした新学部ですが、情報工学領域で活躍中の工学研究科卒業生4人によるシンポジウムを開催。最新の興味深い話を聞くことができました。

西田 友是氏 (東京大学名誉教授・広島修道大学教授)

土橋 宜典氏 (北海道大学准教授)

八子 知礼氏 (株式会社ワフル 専務執行役員 IoTイノベーションセンター所長兼エグゼクティブコンサルタント)

笠置 明彦氏 (株式会社富士通研究所先端コンピュータシステムPJ)



先端物質科学研究科

「科学の先端が分かる」

研究室公開と講演会を開催しました。

【研究室公開】

低温物理学研究室「低温の不思議発見」

量子機能材料科学研究室

「ナノメートルの世界を見る」

代謝変換制御学研究室

「微生物を探し・解析し・利用するための先端科学」

細胞生物学研究室

「私たちの健康長寿に役立つ生き物の紹介(酵母・線虫)」

先端集積システム工学研究室

「新領域を作り出すマイクロエレクトロニクスシステム」



【卒業生等による社会交流事業講演会】

「半導体から農業へ」

井場 淳一郎氏(あじは農園代表)



【卒業生による講演会(広島醸酵会との共催)】

「醸酵で学んだことと医療機器」

迫田 亨氏(株式会社ジェイ・エム・エス)

「バイオフィルムの制御」

阿座上 弘行氏(山口大学大学院創成科学研究科)

「日本酒でおいしく、健やかに
～清酒醸造産物の機能性～」

堤 浩子氏(月桂冠株式会社)

「日本のワイン造り」

木口 敦夫氏(サッポロビール株式会社岡山ワイナリー)

「本格梅酒 The CHOYA の開発

～これはもう、梅酒というより、チョーヤです～」

仁宮 祥太氏(チョーヤ梅酒株式会社)

「サントリーホールディングス株式会社

生産研究部門の業務紹介」

山村 進一郎氏(サントリー株式会社)



文書館

「広島大学の歴史」展

サタケメモリアルホールロビーで、キャンパスや学生生活の移り変わりを写真パネルで振り返る恒例企画。今回は文書館が収集公開した新資料の展示と、森戸辰男初代学長の書のミニ展示も行いました。



放射光科学研究センター

放射光とは何か?

先端科学研究の現場を探访

放射光を発生する加速器(放射光源)と放射光を使う実験装置(ビームライン)を間近で見学していただきました。あわせて、液体窒素を使った超伝導のデモ、光や磁気に関連した実験なども行って子どもさんにも人気でした。



東千田キャンパス 法科大学院

11月4日

講演会「刑事弁護の最前線と法曹養成」

話題の裁判を手がけられた弁護士2人の講演会とパネルディスカッションを開催しました。

「GPS捜査事件―大法廷判決までの道のり―」
弁護士 亀石 倫子氏(大阪弁護士会)

「最高裁逆転無罪～リアル99.9の奇跡～」

弁護士 久保 豊年氏

(広島弁護士会、元広島大学法科大学院教授)

パネルディスカッション

「法曹養成の鍵―弁護士の着想力、創造力と交渉力―」



総合博物館

「総合博物館 お宝特別公開!!」

常設展では展示していないヒグマのはく製やさまざまな化石を期間限定で特別公開しました。さわれる展示や博物館クイズも用意して、ご家族での来場者に好評でした。



宇宙科学センター

東広島天文台観望会

口径1.5mの光学赤外線望遠鏡「かなた」で秋の星空を見ていただく観望会。当日受付は時間前に満員になり、約50人が、寒さに負けず土星や火星、二重星などを観望しました。



霞キャンパス 霞地区合同

医学部・歯学部・薬学部・医歯薬保健学研究科・
原爆放射線医学研究所・大学病院

11月10日

講演会「網膜再生医療の未来」

高橋 政代氏(理化学研究所 生命機能科学研究
センター・網膜再生医療研究開発
プロジェクト プロジェクトリーダー)

目の難病患者に世界初のiPS細胞を移植した高橋政代先生をお迎えし、最新の再生医療をご紹介します。



練習で培った抜群のチーム力で 全日本インカレ連続出場の歴史を守る

第11回
課外活動援助団体

広島大学体育会バレーボール部



大会への遠征費・消耗品などに「課外活動援助金」を活用。ウォーミングアップは男女一緒に、人数が少ない女子の練習を男子部員がフォロー。「男子にいつも助けられています」と廣瀬さん。

1時間前倒し!が通常練習

男女23人が所属する広島大学バレーボール部を訪ねたのは1月中旬。秋の全日本インカレを終え、春の中国地方リーグ戦にもまだ余裕があるオフシーズンです。しかし、真冬の体育館には部員たちの元気のいい掛け声が響いています。

「全日本インカレに出場したものの、男子は2回戦敗退、女子は1回戦敗退という悔しい結果になりました。今年は、まずインカレ連続出場、そして昨年以上の結果を出すために、部員はみんな来シーズンを見据えています」と男子主将の桑原航さん。その思いから、練習日を増やして休みを週1日に。さらに平日は1時間早く集合し、各自ストレッチや体幹トレーニングを行ってから練習に入ることにしました。練習本番はみっちり3時間。オフシーズンとは思えないスケジュールです。

ミスがミスにならないおもしろさ

さっそく女子部員の練習を見学。なるほど、レシーブ練習ひとつにも工夫が見られます。レシーブした直後に床に腹ばいや仰向けという動作を挟み、すぐさま体勢を整えて次のレシーブに。見ているだけで息が上がりますが、みんなの表情はすごくイキイキ。

「バレーは自分がミスしても、他のメンバーがカバーしてくれるスポーツ。ボールを床に落とさなければ、ミスがミスにならないからおもしろい。だからこそ、基本のレシーブ練習に力を入れています」と女子主将の廣瀬愛さん。桑原さんも「チームプレーじゃなかったら、こんなに楽しく一生懸命に活動していないかも」と、バレーにのめり込んだ理由を話してくれました。

コミュニケーションが土台

私大のように「スポーツ推薦で全国からハイレベルな選手を集める」ということができない広大バレー部ですが、部員はみんな小・中・高校のいずれかからの“バレーボール経験者”。メンバーが積み重ねてきた力をつなげるために、何よりもコミュニケーションを大切にしています。女子が具体的に掲げるのは、個々の気づきや思いを共有すること。そして、練習中の掛け声を切らさないことです。男子も同様。学年の壁をなくして何でも言い合える雰囲気づくりを重視しています。

「伝える力・聞く力が育てば社会に出た時きっと役立つはず」と桑原さんは話します。ハードな練習の中で、部員同士の信頼関係を築くこと、それぞれが人間性を高めて成長することが、「つなぐスポーツ」の楽しさのベースになっているようです。



直近の試合は4月中旬の中国地方リーグ戦。男女ともに上位を狙えるチャンスの年なので、メンバーの意気込みは十分。



男子主将 桑原 航さん
(教育学部3年)
リベロもセッターもこなすマルチプレイヤー。「練習後はみんなでご飯に。メリハリをつけて楽しんでいます」



女子主将 廣瀬 愛さん
(教育学部3年)
春高バレーで優勝経験を持つウイングスパイカー。「女子は現在7人で活動。新メンバー大募集中です」



広大バレー部のホームページは大変充実しており、YouTube、Twitter、ブログも活用。廣瀬さんは女子プロゲーマーとしても活躍中。

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/volley/>



安芸津港を海底からキレイに！ ダイバー有志によるクリーンアップ大作戦

第11回・第12回
ドリームチャレンジ賞受賞

広島大学スクーバダイビングクラブ SEAQUA
佐藤 初さん



ダイバー関連の数々の資格証。決められたダイビングスクールで講師を担当できる「アシスタントインストラクター」までを取得している。



瀬戸内海は閉鎖性水域なので、海ゴミは川から流れてきた廃棄物がほとんど。「大型ゴミを海底で見ると、みんなでおお～っ！ちょっと嬉しくなるんです」というエピソードも。



佐藤 初さん(生物生産学部3年)
話の端々に「魚が好き。少しでも魚の世界に近づきたい」という魚愛があふれている。

漁師さんの力になりたい

小さな頃から海の自然に親しんできたという佐藤初さん。生物生産学部で魚の研究をしながら「魚の目線で彼らが生きる世界を観たいから」と、スクーバダイビングクラブで活動しています。

佐藤さんが、授業の一環で安芸津港を訪れたのは1年生の夏。そこで漁協の方から海のごみ問題について聞きました。

「特に深刻なのが海底に沈んだゴミ。陸から見えないのであまり注目されませんが、海は確実に汚れるし、ゴミが底引き網を破ることもあるようで、とても困っておられました」。海底ゴミのほとんどは、河川から流れてきたプラスチックを主とする生活ゴミ。世界的な環境問題「マイクロプラスチック汚染」の原因にもなります。そこで「スクーバダイビングで海底ゴミを回収しよう！」と一大決心。本格的にプロジェクトがスタートしました。

海底にこんなものまで？!

まず取り組んだのは、広島県学生スクーバダイビング連盟のメンバー(ダイバー資格所有者)への声かけ。同時にスクーバに必要な機材レンタル費・移動費などを賄うために、ドリームチャレンジ賞に応募しました。適正水温・潮の干満・天気などをしっかりリサーチし、実施

日は2018年6月と12月の2回に決定。広大生を中心に、連盟の有志合計27人が参加しました。

潜水は必ず2人1組のバディ制で。それぞれがゴミ回収袋を持って、水深5メートルの海底に午前・午後1回ずつ(各1~2時間)潜ります。海底ではペットボトルや缶、食品の包装材からテレビや掃除機などの家電までさまざまな生活ゴミが見つかりました。昨夏の豪雨災害後には家屋の残骸なども見つかったそうです。

海ゴミ問題をもっと知って

スクーバ経験者ばかりとはいえ、慣れない漁港の潜水に苦労したのでは?と尋ねると、「ヘドロを巻き上げると視界が悪くなるので、海底に足をつけないう、ゴミだけ拾うのが大変でした。これが結構、コツがあるんですよ」と笑顔で話す佐藤さん。そんな時、励みになったのが地域の方の声。「頑張っとるね」「ありがとう」という言葉に元気づけられ、それが「今後も活動を続けていこう」という思いにつながりました。同時に瀬戸内海のごみ問題を広く知ってもらい、ポイ捨てや不法投棄をなくすこと、漁師とダイバーの関係性が良くなることも期待しているそうです。佐藤さんの専門は魚の生態学。海をキレイに保ち生態系を守ることは、自身の使命なのかもしれません。



回収したゴミは1日で雑糞袋8つに。家電などは引き上げに体力を消耗するので、海底に残して写真で記録。



ゴミの量や種類を調査しJEAN(海や川の環境保全を行うNGO組織)クリーンアップ全国事務局に報告。

先輩 インタビュー

丸虎国際顧問有限公司 総経理(社長)

オウ ユエン ユイン
歐 元韻さん

(1989年 教育学研究科博士課程前期修了)

人と企業、日本と台湾、
そして中国、
間に立って橋を架けるのが私の仕事。



欧元韻さんは日本と台湾の間に立って、地方自治体や企業の国をまたぐ活動をサポートしています。台湾と日本を飛び回ってビジネスを展開する原動力となっているのは、留学生として広島大学大学院で学び、日本の人材サービス企業の台湾法人で磨いたキャリアと、とことんオープンな性格。話を聞きたいと同席した在学生たちともすぐに友だちのように会話がはずんでいました。

失敗から何を学んだか、 採用担当者は知りたい

採用面接の話をしましょう。私もそうですが、人事担当者はまず顔を見ます。美人かどうかじゃありませんよ。真剣に話を聞いているか、目で判断します。目をキラキラさせて話を聞いている人、間違いありません。

もう一つ、新卒の人と面接したら、私たちは“失敗の経験”を聞きます。皆さん、自己PRは上手ですが、失敗談は話したがりません。でも、失敗は決して恥ずかしいことじゃありません。失敗して何を学んだか、私たちはそれを知りたい。それで、その人がこれから伸びる可能性がある程度判断できると思いますよ。

仕事で築いた信頼関係が “失敗!”を乗り越える力に

私の失敗ですか？ そうですね。

実は、パソナで人材育成ビジネスの立ち上げを任されていたとき、リーマンショックが起きて、結局、頓挫しました。私にとっても失敗でした。でも、私は、諦めたくなかった。

台湾では、採用はあくまでも欠員補充のためで、「人を育てる」という意識がありませんでした。この意識をなんとか変えたかった。だから、翌年独立して起業したとき、あえて“人材育成(研修)”を主業務に据え、日本で人材育成のための研修を受けてスタートしました。

それを知って、以前人材紹介でお世



■ 欧元韻さんのプロフィール

台湾台北生まれ。台湾の淡江大学を卒業した後、広島大学大学院教育学研究科に留学。発達心理学を学ぶ。在学中のアルバイトが縁で日本人男性と結婚。台湾で、総合人材サービス、パソナの現地法人に就職する。20年間の在職中、企業と人材のマッチングを中心に多様な仕事を経験する。2009年、独立して丸虎国際顧問有限公司を設立。日本と台湾にグループ会社を持ち、日本から進出する企業のサポートを行っている。

歐さんの台湾紹介



「現地の事情を理解すればビジネスもスムーズに行きます」と欧さん。丸虎国際顧問有限公司が台湾と日本をつなぎます。

◆台湾は日本の隣国で進出している日本企業も多いのですが、中国や東南アジアへの進出を目指すときの“テストマーケット”と位置づけている企業も多いですね。日本と中国はビジネス環境が異なりますが、台湾がその間の橋渡し役を担っています。

◆日本では企業の寿命は23.5年^{*}だそうですが、台湾の企業は7~13年という数字があります。20歳で就職して60歳まで働こうと思ったら転職せざるを得ません。台湾の人材流出の背景です。

※東京商工リサーチ2017年「業歴30年以上の「老舗」企業倒産」調査結果

◆台湾の人は日本が好きです。2016年に日本を訪問した台湾の人は460万人。5人に1人です。独学も含めて240万人が日本語を勉強していると推計する数字もあります。日本企業にとっては、マーケットとしても魅力的ですよ。

話になっていた日本商社の現地法人の方がトップへのプレゼンの機会を与えてくださったのです。こうして、やっと、念願の研修ビジネスが実現しました。

この経験を通して学んだのは「大切なのはお客さまとの信頼関係だ」ということです。実際この10年間、人間関係に支えられてここまで来たと思っています。

台湾でも、 広島大学のネットワーク

人間関係を広げるために、ネットワークは大事です。私は、日本と台湾の間で仕事をしているので、いろいろなネットワークに参加してアンテナを磨くようにしています。

台湾の広島大学校友会にも入っているんですよ。こちらは台湾の大学の先生などが多くて、私は異質です(笑)。でも、その校友会の集まりで広島大学・千田塾を知って入会しました。こちらはビジネスを軸にしたネットワークで、実際、それまでも仕事でお付き合いいただいている企業のトップも会員です。

台湾で広大出身の先生に学生さんを紹介していただいて、日本の地方自治体のキャンペーンに協力してもらうなど、私にとってネットワークは力になっています。会員同士、お互いにプラスになるよう協力していけるといいですね。

ただ、こういう集まりは目的を持って入ったらダメ。しっかり人間関係をつくってお互いに信頼できると確信できたら、

自然にビジネスも広がっていくのではないのでしょうか。

台湾の若者は 「自分の道は自分で拓く」

台湾ではいま、人材流出が問題になっています。流出先は中国と日本。特に、中国で働きたいという若い人、多いです。その中には、中国企業で経験を積んで台湾に戻って活躍したいという若者もいて、中国とのネットワークが広がっています。

もともと台湾の人は国や企業には頼れないと思っているところがあります。日本のように新卒で入社して定年まで働くという文化もない。だから、自分に力を付けて人生を拓こうと留学したり海外に仕事を求めたりするのです。

日本の若い人は海外に出たがらんと聞きます。確かに、文化も言葉も違う環境で生活するのは大変だけど、「ここは日本とは違うのだ」という前提で、違いを面白がることができればストレスは溜まらないと思います。

「他の会社でも通用する 能力を身につけてください」

私自身は、パソナが台湾に現地法人を設立するときに入社して20年間仕事をしてきました。日本に出向したことも、中国での会社立ち上げを担当したことも

あります。新しいことが好きなので、仕事は楽しかった。楽しいと思うとストレスは感じませんね。

入社するとき、日本人の上司に言われた言葉を、今でも忘れません。「欧さん、頑張って仕事をして自分を成長させなさい。でも、この会社で身につけたことがここでしか通用しないというのではダメです。他の会社でも通用する能力を身につけなさい」—いい会社で仕事をさせてもらったと感謝しています。

皆さんも、自分を成長させてくれる会社と出会えるといいですね。

【取材を終えて】

馬 達 (教育学研究科博士課程前期1年)

◆教育学研究科の先輩で、留学生としても先輩です。同じ中国人同士ですし、お話ししたかった。中国と台湾は微妙な関係ですが、ぼく自身は、同じ中国語を話す者同士、助け合ってどちらかが発展していくべきだと考えています。ぜひ、これからもいろいろ話を聞かせてください。

野村 健悟 (教育学部3年)

◆外国の人に日本語を教える勉強をしているので海外に関心はあるのですが、欧さんのように自分で会社を興して国際的に活躍するというイメージは持っていませんでした。欧さんの話を聞いて「グローバル」という言葉がちょっと身近に感じられました。

福原 潤 (法学部4年)

◆私は就活の経験があり、そのとき「恥ずかしかった経験」を聞かれたことを思い出しました。欧さんが言われる「失敗」を聞かれたのだらうと思います。初めてのことに好奇心満々でチャレンジしていかれた欧さんの姿勢は、これから社会人になる私にとってとても刺激的でした。



写真左から馬さん、欧さん、野村さん、福原さん

広 大 ネットワーク

東京

広島大学東京オフィス

〈友だちの輪〉が広がっています。あなたも参加しませんか。

まず、右の二次元コードで広島大学東京オフィスのホームページにアクセスしてみてください。

広島大学関東ネットワーク【広大OB訪問数珠つなぎ「実は、広大です」】

ここが、首都圏で活躍する広島大学卒業生とのネット上の交流拠点です。2017年10月の東裕二氏（1979年総合科学部卒・フューチャーアーキテクト(株)代表取締役CEO）をスタートに、広島大学関東ネットワークと共に、昨年11月までの1年余りで16人の卒業生にインタビューしました。

「数珠つなぎ」というタイトルどおり、基本は人から人へ、友だちつながりネットワークを拡げています。インタビュアーも卒業生。友人や同学部卒業生などご本人と関係がある人も多く、オフィシャルなインタビューでは見えない人間性が垣間見えるなど、読み応えのある記事になっています。

記事を見た就活生から「あの先輩にOB訪問したい」という依頼も寄せられたとか。もちろん、東京オフィススタッフがOB訪問の仲を取り持ったことは言うまでもありません。



▶【広大OB訪問数珠つなぎ「実は、広大です」】

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/tokyo/dousoukai/jyuzutunagi>



▶広大卒業生の友だちをご紹介します。

liaison-office@office.hiroshima-u.ac.jp



人気のワインパーティもご案内

東京オフィスは、首都圏における広島大学卒業生、在学生の活動拠点。ワインパーティや最先端の技術講演会などさまざまなイベントの実施をサポートしています。メールアドレスを登録していただければご案内メールを送らせていただきます。

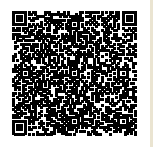
（登録無料、参加自由）
▶広島大学東京オフィス
登録フォーム



地図、アクセスなどの情報は3～4ページをご覧ください。

【問合せ先】

広島大学東京オフィス
〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6
キャンパス・イノベーションセンター（CIC）409号室
TEL 03-5440-9065
メール liaison-office@office.hiroshima-u.ac.jp



広島

広島大学・千田塾 2019.1.12

広島大学卒業生でつなぐ 沖縄・広島 音楽交流会
早くも「第2回開催」が決定

広島大学・千田塾は年2回交流会を開いていますが、今回は番外編。沖縄県広島大学同窓会の島尻雅彦幹事とジョイントした音楽交流会を開催しました。沖縄からは島尻ご夫妻を含むはいさい・いやささバンドが参加。広島からは、リーダーでベースの小嶋泰紀さん（政経学部卒）、ボーカルの藤本吉範さん（医学部卒）、プロギタリストの藤井晴稔さん（総合科学部卒）をはじめ広島大学卒業生による広島大学・千田塾スペシャルバンド、そして、スペシャルゲストとして広島を中心に活躍するバイオリニスト、後藤明子・絢子姉妹とピアニストの枝川康子さん（いずれも教育学部卒）。クラシックから吉田拓郎、ビートルズ、沖縄民謡まで「なんでもあり!」、最後には沖縄出身の現役広大学生を含むオールメンバーで「島人ぬ宝」「レット・イット・ビー」を演奏し客席も一体になって盛り上がる盛況ぶりでした。

〈ビジネス〉をキーワードに卒業生をつなぐ広島大学・千田塾としては初めての試みの音楽交流会ですが、この盛り上がりで広島大学・千田塾の山坂哲郎会長が「来年もやりましょう!」と約束。卒業生をつなぐキーワードは多様であることを実感させた交流会でした。



【広島大学・千田塾についての問合せ先】

広島大学・千田塾事務局
TEL 050-3634-0777 FAX 050-3737-6958
メール info@sendajuku.net



広島

総合科学部

岩永教授を囲む集まりから 同窓会総会開催へ動き始める

昨年8月、広島市のホテルである会合が催されました。会の趣旨は「岩永さんを励ます会」、集まったのは、総合科学研究科長の岩永誠教授の同期生を中心とした1980年前後に総合科学部で学んだ卒業生や、先輩・後輩に在学生2名も含む21名。岩永教授の恩師、生和秀敏名誉教授も参加しました。



広島大学総合科学部は1974（昭和49）年開設で今年45周年を迎えます。会には同窓会理事も出席しており、「45年を機に総合科学部同窓会総会開催」という提案がありました。正式には理事会で開催日時と場所が決まることになります。

【総合科学部同窓会総会についての問合せ先】
広島大学 総合科学部 同窓会
〒739-8521 東広島市鏡山1-7-1
メール soukaoba@hiroshima-u.ac.jp



校友会員用Webサービスをご活用ください。



広島大学校友会の会員が、パソコンやスマートフォンを通じて24時間、365日、どこからでも情報の登録・変更・会員検索ができるサービスです。正会員の方は、同期会など会員同士の連絡にもご利用いただけます。

※校友会正会員…広島大学の在学生・同窓生・教職員・元教職員で校友会に終身会費（¥20,000）を納付された方

校友会Webサービスを利用するには
申請手続きを行ってください。

▶ <https://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai/touroku/web>



hitoto 広島
から
ご案内

旧キャンパスを訪ねませんか 千田キャンパスツアー



■「あこのろ」の「いま」

2016年以来、開発が進んでいる旧東千田キャンパス敷地、現在は2020年に向けてタワーマンションの建設が進んでいます。「あこのろのキャンパスの様子はどうなっているのだろうか?」という同窓生の声を受け、昨年8月19日(日)に、hitoto広島タウンマネジメントのスタッフによるガイドで、「千田キャンパスの今ツアー」を実施しました。当日は、敷地内にあるCLiP HIROSHIMAに集合したあと、旧東千田キャンパス時代と同じロケーションや、2016年に新築された広島大学東千田未来創生センターや、民間施設、マンションギャラリー（近隣）などを巡りました。

ご参加いただいた1987年卒の村上千里さん（旧姓：阪東）は、「森戸道路越しに理学部の建物が見える景色が残っていて嬉しかった。新しい街の住民たちにとって大切な場所になってほしい」と話しておられました。

■「千田フォトウォーク」はお一人から参加可

カメラ（スマホでもOK）を持ってグループで千田の今を撮影します。

内容：広島大学東千田キャンパス・hitoto広島・千田通り商店街・タカノ橋商店街等でのフォトウォーク、撮影した写真を用いてふりかえり

日時：2019年4月14日(日) 13:00～16:00

主催：ひろしまじん大学

協力：一般社団法人hitoto広島タウンマネジメント
参加費：無料

詳細・申込み先：ひろしまじん大学WEBサイト

<https://www.jindai.hiroshima.jp/>

思い出は歴史になる。

『広島大学75年史』NOW! ② お手持ちの写真・資料をご提供ください。

ギタークラブ創設のころ-1963年-



佐伯一郎さん 提供
1964(昭和39)年教育学部高等学校教育科卒業

1961年、知人の北林康彦さんと「ギター同好会を作ろう」とポスターを貼ったところ、30人くらいの学生が集まった。ギターに対する興味は様々だったが、仲良く練習を続けた。2年後、初めてのコンサートを見真講堂で開いたが、未熟な演奏にもかかわらず温かい拍手と激励を受けたことは今でも忘れることができない。写真は1963年、可部町福音荘での夏合宿。

フェニックス駅伝表彰式の一コマ-1974年-



松尾(旧姓原田)裕美さん 提供
1978(昭和53)年教育学部東雲分校卒業

学生時代(1・2年生時)バドミントン部に所属していました。写真は、1年生の時に出場したフェニックス駅伝でバドミントン部女子チームが優勝し、賞品をいただいているところです。バドミントンは上達しませんでした。厳しいトレーニングは、よい思い出になっています。平日の練習前は、元安川の土手から旧工学部のあたりを走っていました。他にも比治山や黄金山を走ったこともあります。

【連絡先】 広島大学75年史編集室(担当:石田)

〒739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1 広島大学文書館内

電話 082-424-5120 FAX 082-424-6049 E-mail nenshi75@hiroshima-u.ac.jp

校 友 会 レ ポ ー ト

2018(平成30)年度

校友会員在学学生支援は総額933万円

ドリームチャレンジ賞と課外活動援助金。広島大学校友会・同窓会は、この2つの制度で校友会員在学学生の活動を資金的にサポートしています。2018(平成30)年度も、ドリームチャレンジ賞は6月までに校友会員在学学生から申請された活動に対して審査を行って9月には支援案件を決定しました。また、課外活動援助金も11月までの申請に応え3月に援助金の贈呈を行います。

ドリームチャレンジ賞は 52件に600万円を支援

広島大学校友会と広島大学同窓会では、校友会員在学学生の自主的な活動に対して活動資金をサポートする「ドリームチャレンジ賞」を制定しています。学びやスポーツ、ボランティアなど対象は幅広く、獨創性、ドリーム性があること、チャレンジ性があること、発展性があること、計画に妥当性があること、社会に貢献するものであることを基準に選考が行われます。



2018(平成30)年度の第12回も選考の結果、52の案件に対して600万円が贈られることになりました。授与式は昨年10月18日(木)に行われ、越智光夫学長から受賞者に表彰状が贈られました。この後、1年の間に行った活動についてレポートにまとめ、2019年

12月に報告会で発表することになっています。

課外活動援助金は 18の団体・個人に333万円

校友会員在学学生が参加するクラブやサークルなどの課外活動への支援は、地区予選などを経て全国・世界規模の大会に出場したクラブやサークル活動の支援、校友会員在学学生からの申請によって遠征費、奨励費を援助することになっています。

課外活動援助金の授与式は3月4日。追って、新年度の活動に備えて各団体の口座に援助金が振り込まれることになっています。

ご寄附をありがとうございました。

第12回ホームカミングデーでは多くの方々から広島大学校友会宛にご寄附をいただきました。いただいたご寄附は、ホームカミングデー実施費用として使わせていただきます。ありがとうございました。

寄附をいただいた方
ご寄附の額

個人56名、団体1団体
76万0000円